

評価の観点一覧

※ 評価の観点の考え方については、p6の「(2)評価の観点」を参照してください。

柱	項目	幼児期の終わりまでに育ってほしい姿		小学校生活を通して育ってほしい姿	
			評価の観点		評価の観点
（柱1） 基本的 生活習慣	生活に見通しをもつ p8・9	○生活や活動を進める中で、自分のすることが分かり、 <u>見通しをもったり</u> 、周囲の状況を判断して行動したりするようになる。	◎見通しをもって行動する →見通しをもって生活する中で、自ら片付けをしたりトイレに行ったりしている。	○生活時程に慣れ、 <u>見通しをもって</u> 、チャイムの合図で次の活動に移行するための準備を整えるようになる。	◎見通しをもって行動する →休み時間に、排泄、水飲み、次の時間の準備など、時程を意識することができる。
	生活を自らつくる p10・11	○自分の持ち物に愛着をもち、所定の場所に自分でしまい、 <u>整理する</u> ようになる。	◎自分の持ち物を整理する →自分の持ち物を大切に扱い、ロッカーや道具箱の中を整理している。	○自分の持ち物を認識し、大事に使ったり、 <u>整理したり</u> するようになる。	◎自分の持ち物を整理する →自分の持ち物やロッカー、机の中を整理し、宿題や提出物は所定の場所に忘れずに出すことができる。
	自ら体を整える p12・13	○給食やお弁当を友達や先生と一緒に、 <u>マナーを意識して楽しんで食べる</u> ようになる。	◎食事のマナーを意識して楽しんで食べる →友達や保育者と一緒に食べることの楽しさを味わいながら、マナーを意識して食べている。	○給食を友達や担任と一緒に、 <u>マナーを身に付けて楽しんで食べる</u> ようになる。	◎食事のマナーを身に付けて楽しんで食べる →食事のマナーを守りながら、友達や担任と一緒に楽しく食べることができる。
	学びに向かう姿勢 p14・15	○保育者の話を自分のこととして受け止め、自分なりに考えて行動するようになる。	◎自分のこととして受け止める →話をする人の方を向いて、話を自分のこととして受け止めて聞き、行動している。	○教師の話を自分のこととして受け止め、 <u>理解して行動する</u> ようになる。	◎自分のこととして受け止める →前を向いて座り、教師の話を自分のこととして受け止めて聞き、行動できる。
	健康な心と体 p16・17	○ <u>進んで遊びに参加し、自分の体を十分に動かして遊ぶ</u> ようになる。	◎自ら進んで体を動かして遊ぼうとする →ドッジボールやリレーに参加したり、短縄や長縄などに自分のペースで挑戦したりしている。	○ <u>運動に積極的に取り組む</u> ようになる。	◎自ら進んで運動しようとする →体育の授業や休み時間、運動会の練習などで、全力で走ったり、集団活動を楽しんだり、進んで体を動かすことに取り組める。
（柱2） 他者との 関わり	自立心 p18・19	○失敗を乗り越えてやり遂げることで満足感を味わい、 <u>自信をもって行動する</u> ようになる。	◎自信をもって行動する →こま回しや鉄棒、製作などに積極的に取り組み、できなくてもあきらめずに挑戦している。	○生活や学習において、失敗しても意欲をもってやり遂げ、 <u>自信をもって行動する</u> ようになる。	◎自信をもって行動する →自分のことは自分でしようと、試行錯誤しながら粘り強く取り組むことができる。
	協同性 p20・21	○クラスやグループの活動の中で自分の力を発揮し、 <u>互いのよさを認め合える</u> ようになる。	◎友達と互いに認め合う関係を築く →生活や遊びの中で、自分と違う友達の思いや考えに気付いたり、自分の思いを言葉で伝えたりすることを通して、友達と協力して取り組もうとしている。	○グループ学習を通して、相手の考えを聞き、様々な考えがあることを知ったり、 <u>自分以外の考えを尊重したり</u> するようになる。	◎自分以外の考えを尊重し合う →係活動やグループ活動で、友達と意見を交わす中で、新しい考えを生み出したり、工夫して取り組んだりできる。

項目	幼児期の終わりまでに育ってほしい姿		小学校生活を通して育ってほしい姿	
		評価の観点		評価の観点
(柱2) 他者との関わり	道徳性・規範意識の芽生え p22・23	○してよいことや悪いことがあることに気づき、考えながら行動するようになる。	◎してよいことや悪いことがあることに気づき、考えながら行動する →生活や遊びの中にきまり(トイレの使い方や鬼遊びのルール、人を傷つける言動はしないなど)があることを知り、守ろうとしている。	◎してよいことや悪いことがあることに気づき、考えながら行動する →学校生活の中のきまり(休み時間の過ごし方や廊下の歩き方、人を傷つける言動はしないなど)があることを理解し、守ることができる。
	社会生活との関わり p24・25	○担任との信頼関係を深め、自信をもって生活するようになる。 ○したいこと、してほしいことを言葉で表現したり、分からないことを尋ねたりするようになる。	◎担任との信頼関係を築き、思いを伝える →自分の思いや分からないことを、自ら担任に伝えたり、尋ねたりしている。	◎担任との信頼関係を深め、安心して学校生活を送ることができるようになる。 ○自分の状況を言葉で表現し、困っていることや分からないことを伝えたり聞いたりするようになる。
(柱3) 学びの芽生え	思考力の芽生え p26・27	○身近な事象に意欲的に関わる中で、気付いたり、疑問に思ったり、感じたりするようになる。	◎意欲的に関わる →興味をもったことに向かって、考えたり、繰り返し試したり、意欲的に取り組んでいる。	◎意欲的に取り組む →学習に興味や関心をもって、考えたり、繰り返し試したり、意欲的に取り組むことができる。
	自然との関わり・生命尊重 p28・29	○季節の変化や自然現象に興味・関心を持ち、考えたり、試したりするようになる。	◎季節の変化や自然に興味・関心をもつ →自然の不思議さ(空や雲、日差しの変化、紅葉や落葉、身近な昆虫などの生き物など)に気づき、伝え合ったり、図鑑で調べたり、遊びに取り入れている。	◎季節の変化や自然に興味・関心をもつ →草花の世話や、小動物や昆虫などの飼育を通して、成長の変化や生命の大切さに気づき、大切にすることができる。
	数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚 p30・31	○遊びや生活の中で子ども自身の必要感に基づく体験を通して、数量や図形、標識や文字への興味、関心、感覚をもつようになる。	◎数量や図形、標識や文字に興味・関心をもつ →自分の名前など、文字に興味をもち、生活や遊びに取り入れたり読んだりしている。 10くらいを目安に数を数えたり、比べたり、分けたり、順番を理解している。	◎文字や数字に興味・関心をもつ →10がいくつといくつでできているのか分かる。板書を一定時間に連絡帳に書き写したり、物語の場面の様子を想像しながら、楽しんで読んだりすることができる。
	言葉の伝え合い p32・33	○友達や保育者に自分の気持ちや思いを聞いてもらったり、相手の話を聞いて理解したりする中で、互いの心を通わせ、言葉での伝え合いを楽しむようになる。	◎言葉で伝え合う →グループで目的をもって取り組む活動の中で、自分の意見を言葉で伝えたり、友達の話聞いて理解しようとしていたりしている。	◎言葉で伝え合う →学級全体で一つの課題について話し合う中で、自分の意見を相手に伝えるように話したり、友達の話聞いて理解したりできる。
豊かな感性と表現 p34・35	○身近にある素材や用具の特徴に気づき、必要なものを選んで、考えたり工夫したりして、自分なりの表現を楽しむようになる。	◎感じたことを自分なりの方法で表現する →見たこと、聞いたことや感じたことを、製作活動や合奏、劇遊びなどで表現している。	◎感じたことを自分なりの方法で表現する →見たことやイメージしたことを、音楽や造形、身体表現などを通して、伸び伸びと表現できる。	